

梨の花



市川市立稲荷木小学校

〒272-0024 市川市稲荷木1-14-1 Tel 376-5961

<http://www.toukagi-syo.ichikawa-school.ed.jp>

「なぜ」というナイフを捨てよう

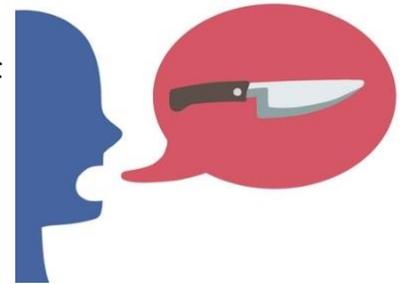
校長 清田 博之

幼い子たちは、世界のさまざまに出会うたびに「なぜ」「どうして」を連発します。「なぜ、夜になると暗くなるの?」「なぜ、タンポポは黄色だけなの?チューリップはいろんな色があるのに…」その度に、親は目を細めてわが子の成長を実感して、時々は答えに窮しながらも、幸せな気分になりました。

時は流れ、子どもが高学年から中学生ぐらいの思春期を迎えると、「なぜ」を連発するのは親のほうが多くなります。「なぜ、服を脱ぎっぱなしにするかな」「なぜ、朝ちゃんと起きられないの」「なんで計画的に勉強できないの」「なんでテストが近いってわかっているのに、スマホばかりいじっているの」

世界の不思議と出会ったときに発せられた、素敵な「なぜ」がいつの間にか誰かを責めるナイフのように使われることになってしまう…。自分自身も経験があります。今になって思うと、そんなに問い詰めても解決なんてしなかったのに。

尖った「なぜ」に刺された彼らは、答えることなどできずに黙り込む。だって、自分でも、答えはよくわからないから。苦しくなると、親を納得させられるような理由を作って言ってみたりするけれど、そしてそれは誰かのせいになっているような言葉だけど、本当は、なんか違うってわかっている。



思春期を迎えた子どもたちだって、本当は、幼子の時と変わらない「なぜ」を心のなかでたくさん呟いているのです。でも、その「なぜ」は自分自身に向かう言葉だから、口に出して誰かに尋ねたりしない。答えが見つからずに頭の中をぐるぐるする問いに、苛立ったり逃げ出したりしたくなったりしているのです。

だから、ちょっと「なぜ」を使うのをやめてみませんか。

それよりも、「あなたは どうしたい?」「あなた だったら どうする?」という言葉に変えてみてください。不思議なもので、自分で決めたことは意外とできるのです。もちろん、失敗はします。だけど、失敗するから学ぶことができる。親御さんは、できるだけ失敗させない、傷つかせたくない、辛い目にあわせたくないから、先回りして、親が思う良い方法を取らせようとする傾向が強いようです。だけど、思春期を迎えた子どもたちには、あまり効果がないのです。「なぜ」を使うときは、「なぜ、あなたはこんなに優しいんだろう。大好き」

これで、いきましょう。ちょっと、びっくりするでしょうけれど、嬉しくて、そして自分で一歩を踏み出す力になるはずです。指示や支配よりも「対話」を。少し大人と認められたら、自分で行動できます。



泊を伴う行事・バス遠足についての本校の方針

7月9日～10日に予定をされていた5年生の林間学習は、市川市の蔓延防止措置が延長されたことに伴い、10月3日～4日に延期としました。子どもたちの気持ちも盛り上がってきたところで残念ではありますが、市全体で協議をし、子どもたちの安全を第一に考えた上での決定ですので、ご理解いただけますようお願い申し上げます。

泊を伴う行事は通常の行事よりも感染リスクが高くなりますが、万が一、10月に実施できない場合でも、再度延期の方針で調整をしております。これは、6年生の修学旅行でも同じです。市内の他の学校では、既に「日帰りの旅行」に変更したところもあるようですが、昨年度、林間学校を実施できなかった6年生については、校長の気持ちとしては「何が何でも…」とまで考えています。

なお、他の学年のバス遠足については、夏休み以降に実施を計画しております。（泊を伴う行事に比べれば感染リスクは低いので、蔓延防止措置の発令の有無に左右されません。）

各学年のバス遠足の行き先は以下のとおりです。

1年：アンデルセン公園 2年：成田ゆめ牧場 3年：市川市内見学
4年：佐原方面 5年：（林間実施後に決定） 6年：鴨川シーワールド

※詳しい日程等につきましては、学年だよりをご覧ください。



6年生 キャリア教育

6年生はキャリア教育の一環として、いろいろな職業人の方をお招きしてお話を伺う学習を実施しています。

第一回目の職業人は「弁護士」さん

第二回目の職業人は「自動車販売」の方



弁護士の森本先生。弁護士の仕事とは、どういうものか？弁護士を目指した動機は？など…楽しくお話をいただきました。



カーディーラーの澤田さん。お客様とよくコミュニケーションをとることが大切だというお話をいただきました。

※ 今後も、いろいろな職業の方をお招きしてお話を伺う予定です。